

AUTOMATIC PERIMETER

# OCTOPUS

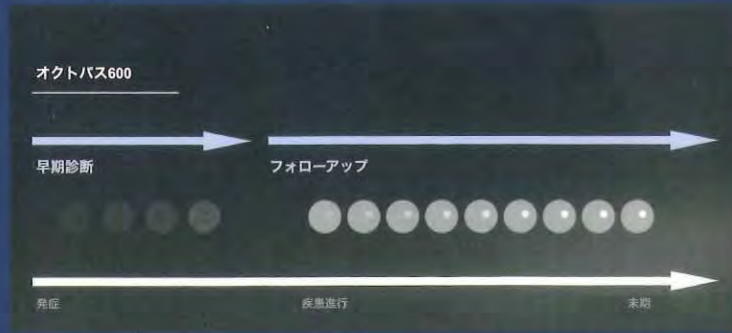
# 600

自動視野計  
オクトパス600



早期診断と標準的な視野測定を  
オールインワンで





我が国の失明原因の第一位であり、年々進む高齢化によって今後も大幅な増加が予想される緑内障。この緑内障の治療に一番有効なのは、早期発見と適切な治療、そして長期的な患者さまのフォローアップです。オクトパス600は、TFTモニターで刺激と背景を作成する新しい視野測定技術を導入しました。これにより、キューポラベースまたは投影タイプの視野計では不可能であったパルサーなどの複雑な刺激を呈示することができます。緑内障の早期検出のためのPulsar視野測定と、長期フォローアップのための標準的なwhite-on-white視野測定を1台に搭載できたことで、限られた診療スペースにうれしいコンパクトなサイズであるだけでなく、優れたユーザビリティと検査時間の短縮によって患者さまのフォローアップ視野検査の受診率まで向上させます。

## 早期診断と、標準的な (Pulsar) (W/W)

● レスポンスボタン



● タッチパネルスクリーン

カラー液晶画面のタッチパネルスクリーンで操作が簡単です。

● ヘッドレスト

● マグネット式矯正レンズ



### Pulsar視野測定

早期緑内障の検出を容易に

過去数十年間における様々な研究によって、緑内障ではコントラスト感度とフリッカー感度が影響されることが示されています。Pulsar視野測定は、10Hzで反相点減するコントラストの調整されたリング視標を呈示することで両方を組み合わせた早期緑内障の検出に適した方法です。



### white-on-white視野測定

長期フォローアップのために

緑内障および様々な他疾患の長期フォローアップでは、標準的なwhite-on-white視野測定が推奨されています。オクトパス600は、TFT技術を使用してフリッカーのない画面で標準的な視野測定が可能です。



## 静的視野測定を1つの機器で

エルゴノミクスデザイン

十分なスペースと調節可能なヘッドレストにより、検査を受ける患者は、自身の眼鏡を使用することができます。側面シールドは、患者の注意がそらされることを防止します。また新設計のレスポンスボタンは患者の手にフィットし、操作性が向上しています。

マグネット式矯正レンズ

マグネット式で容易に取り付け可能な矯正レンズは、本体両側に-8~+4dptの球面矯正用検査レンズを設置することができ、患者の位置調整が容易となります。また本体内部には、+3.25dptの老眼矯正用レンズを搭載しており、年齢による補正は不要です。

設置場所を選びません

オクトパス600は、コンパクトな設計により、最小限のスペースに設置することができます。さらに、ファンやモータのない静音動作により、検査室の任意の場所に設置することができる視野計です。





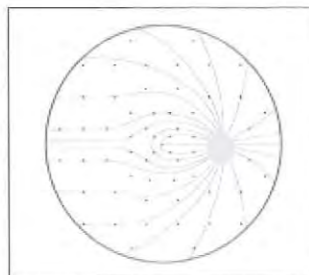
## 生理学に基づいたプログラム

32パターンのような一般的なプログラムに加え、オクトパスの標準として生理学に基づく検査パターンであるG2パターンを採用しています。このオクトパス標準プログラムでは、中心部で視標の密度を高めることで、一般的な32パターンでは見落としやすい傍中心暗点の検出を可能にします。G2パターンの検査位置は神経繊維束に沿って分布し、機能所見と構造所見の結び付きを十分に評価できます。

### 主なプログラム

#### G2 (緑内障検査)

過去のデータベースをもとに1987年 Dr.フラマーによって開発されたもので、神経線維層を追跡し、黄斑部への高い分解能で傍中心暗点を捉えることができる緑内障診断用プログラムです。早期緑内障の検出から一般的な視野検査まで、より短時間で精度の高い検査結果が得られます。



G2測定点配置 (30°内)

#### M2 (黄斑部検査)

(W/Wのみ)

神経性疾患や黄斑部周辺に疾患を有する患者において、中心窩とその周辺部の視野欠損の検査に用います。また、HFAの10-2プログラム(W/Wのみ)も使用可能です。

#### 32 (グリッドパターン検査)

このプログラムはX-Y軸を挟んで6度間隔のグリッドに測定点が配置されています。また、HFAの24-2プログラム(W/Wのみ)も使用可能です。

### 測定方法

#### Pulsar視野測定

Pulsar視野測定は、迅速かつ容易な視野計測方法であり、早期緑内障性の視野欠損の検出に関してSAPよりも感度が高いことが示されています。

#### 明度識別視野 (W/W)

一般的に広く普及している、白色背景に白色視標を呈示し、視感度を求めるスタンダードな視野測定方法です。

### ストラテジー

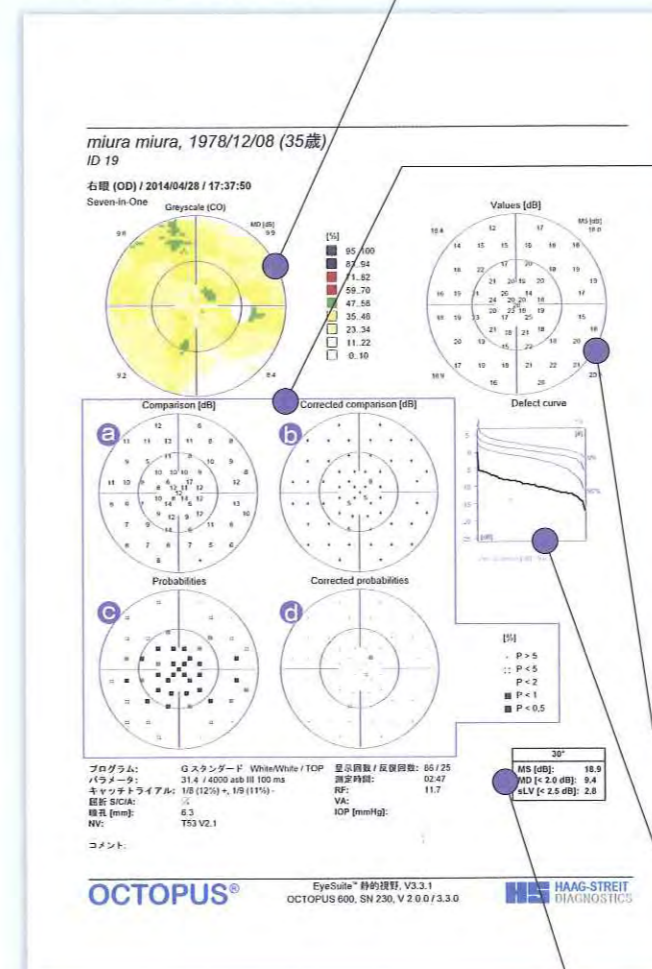
TOPストラテジーは、検査時間をDynamicストラテジーの6~8分、Normalストラテジーの10~12分と比較して最大約80%短縮する最も高速な閾値検査です。TOPアルゴリズムは、隣接部位における閾値の相関性を考慮した体系的な方法です。Pulsar視野測定は、TOPストラテジーのみを使用するため、G2Pプログラム(緑内障、59箇所の検査部位、中央30°)は、2~4分以内に完了することができます。

## プリントアウト

Octopus 7-in-1プリントアウトで視野評価が容易になります。

- ベビエカーブはむやみにボタンを押す患者(過剰応答)を明らかにするとともに、全体的な視野欠損と局所欠損を分離します。
- グローバルインデックスは欠損を定量化して視野の分類を可能にします。
- 確率グラフと比較グラフを利用すれば、Hodapp-Parrish-Anderson基準に従って視野を分類することができます。

### <7-in-1>プリントアウト



#### グレースケール/Greyscale

視野感度が低下している部位ほど暗く表示されます。グレースケールの表示方法は以下の2種類から選択できます。

①正常値との比較を行ったグレースケール(CO) (左の測定結果例) 正常値(年齢別正常閾値)と比較して異常が見られる部分のみ“影”として表示します。

②ノーマルなグレースケール(VA)※ 実測値をベースにしたグレースケールです。

※上記のSeven-in-Oneプリントアウト形式では選択できません。

#### コンパソン・テーブル/Comparison

局所欠損の比較における正規性のパーセンタイル値。P<1は、この部位で同じ偏差に至る割合が健常者の1%未満であることを意味します。

a Comparison 実測値と年齢別正常閾値(Age Corrected Normal Value)との差異を表しています。

b Corrected Comparison DeviationのdBをコンパソン・テーブルから差し引いたものがCorrected Comparisonsです。

c Probability 病的欠損が起こりうる確率を示しています。

d Corrected Probability Corrected Comparisonと同様に、Deviationを差し引いて補正した値から算出されたProbabilityを示します。

#### バリュー/Value

実測値(dB)を含む、視野に関する全情報がValue-Tableに表示されます。

#### ベビエカーブ/Defect curve

すべての視野欠損値の順位付け、標準帯域に対して左(最良の局所偏差)から右(最悪の局所偏差)へ示します。

帯域が5から95%内：正常  
左のオーバーシュート：過剰応答  
平行な低下：全体的沈下  
右下が勾配：局所欠損

#### グローバルインデックス/Global Indices

M S：平均感度 dB/[SRC]

M D：平均欠損 正常値は-2~+2dB.[SRC]

sLV：square Loss Variance 正常値は0~2.5dB.[SRC]



## 仕様

オクトバス600 プロセット	
商品番号	AU-600-P
矯正レンズ(-8~+4dpt)	●
Cluster/Polar トレンド	●
Dynamic/Normal (W/W)	●
TOP (Pulser)	●
TOP (W/W)	●
リモート データベース	●
視標表示方式	TFT画面表示
検査法	ブラケットティング法
固視監視	CMOS赤外線カメラ
測定範囲	中心視野30°
外形寸法	W467×D508×H500mm
重量	12.7kg
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	100W(待機時 3W)
インターフェース	4×USB 2.0
	1×1000 Base-T (1Gbit)

	Pulsar	W/W
視標カラー	白色	白色
背景輝度	32cd/m <sup>2</sup>	10cd/m <sup>2</sup>
ダイナミックレンジ	0~35src	0~35dB
視標サイズ	5°	0.43°(ゴールドマンⅢ)※
視標表示時間	500ms(@10Hz Flicker)	100ms
プログラム	G2P、32P	G2、M2、32、24-2、10-2
ストラテジー	TOP	Normal/Dynamic/TOP

※測定結果により変化することがあります。



## 電動光学台

電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	700W(うちコンセント内 400W)
電源出力	1口(100V)
外形寸法	足元：W701×D450mm
	テーブルトップ：W650×D450mm
上下可動範囲	600mm~850mm
重量	20kg

## オプション ペリファインダー アイスイート / Peri Finder Eye Suite (別途 PC<sup>®</sup> 必要)

### 視野解析ソフト Eye Suite<sup>TM</sup> Perimetryがファイリングソフトと連動

※Windows<sup>®</sup>7に対応しています。

Peri Finder Eye Suiteを使うと…

- Eye Suite<sup>TM</sup> Perimetryと既存のファイリングシステムソフトとの連携ができます。  
ファイリングシステムソフトで表示されている特定患者のデータをIDリンクで即座にEye Suite<sup>TM</sup> Perimetryの同一患者に連携できます。
- ファイリングシステム上の患者情報または属性データの読み込みができ、Eye Suite<sup>TM</sup> Perimetryに自動登録ができます。

オクトバス自動視野計日本総代理店：

**RE** アールイーメディカル株式会社  
R E MEDICAL, INC.

[www.re-medical.co.jp](http://www.re-medical.co.jp)

本社：〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-29  
TEL.(06)4794-8220(代) FAX.(06)4794-8222  
東京営業所：〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル  
TEL.(03)5816-1480(代) FAX.(03)5816-1483  
名古屋営業所：〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台2-128 パティナー社台  
TEL.(052)760-3955(代) FAX.(052)760-3956  
福岡営業所：〒812-0014 福岡市博多区比恵町11-7 ニューいわきビル  
TEL.(092)437-5180(代) FAX.(092)437-5181

特約店